

平成29年
7月号

太陽の都 だより

発行所 ● 医療法人社団 博栄会 介護老人保健施設「太陽の都」 〒115-0051 東京都北区浮間 2-1-13 TEL03-3558-8881 FAX 03-3558-8831

責任者 村上

行事報告

フリーマーケット

五月二十八日(日)に当施設恒例となりましたフリーマーケットを開催しました。当日は好天にも恵まれ地域の皆様・御家族様二〇〇名を超えるご来場者で、場内が一時ごった返す光景も見られました。また、正面玄関前では焼きそば・フランクフルト・たこ焼きの店頭販売に加え、今回は東京赤羽ライオンズクラブのご協賛で「うきま子食堂」としてロストビーフ丼をお子様無料で提供いただき、お子様たちから「美味しい・美味しい」と顔をほころばせながら嬉しそう舌鼓みを打っていました。ご入所中のご利用者様に展示品の中からお一人一点無料で差し上げる企画があり、手に取ったり身に着けてみたりしながらお好みの品を手にとりながらも嬉しそうにしている笑顔がとても印象的でした。なお、フリーマーケットの売上金は全額、北区社会福祉協議会に寄付させて頂きました。

日常の様子



梅雨も終盤に入りました。今年の梅雨は雨が例年に比べ少なく感じられます。その様な状況の下、屋上散歩の予定を立てましたが梅雨時らしく予定した日は天気が芳しくなく、屋上散歩は実施できませんでした。が、三階フロアのベランダには、向日葵の花を植えてあります。利用者様は窓越しに向日葵の花を眺めながら成長を楽しみにしています。また、雨の日にはフロアで「風船バレー」などのレクリエーションをしています。晴れた日には短時間でも屋上に行って風景を眺めて頂きながら外に出づらい梅雨時でも楽しく過ごしていこうと思います。

特集

七夕(たなばた、しちせき)は、中国、日本、韓国、ベトナムなどにおける節供、節日の一つ。五節句の一つにも数えられます。旧暦では七月七日の夜のことで、日本ではお盆(旧暦七月十五日前後)との関連がある年中行事であったが、明治改暦以降、お盆が新暦月遅れの八月十五日前後を主に行われるようになったため関連性が薄れたそうです。日本の七夕祭りは、新暦七月七日や月遅れの八月七日、あるいはそれらの前後の時期に開催されています。日本の「たなばた」は、元来、中国での行事であった七夕が奈良時代に伝わったもので、中国から伝わったストーリーも今私たちが知っているものとはほぼ同じそうです。現代の「七夕祭り」は、神事との関わりも薄れ、もっぱら、観光客や地元商店街等への集客を目的としたものとなっているそうです。神輿や山車などを繰り出す祭りと異なり、前日までに、笹飾りをはじめとした七夕飾りの設置を終えれば当日は人的な駆り

出しも少なく、また商店前の通行規制も少ないため、商店街の機能を低下させることなく買物客を集められるという点で、商店街との親和性が高く、戦後の復興期以降、商業イベントとして東日本を中心に日本各地で開催されてきたそうです。多くは昼間のイベントと、夕方から夜にかけての花火という組み合わせが殆どで、伝統的あるいは神事としての七夕の風習に頓着せず行われている事が多くなっています。

クラブ予定

書道クラブ

二階は毎週月曜日、三階は毎週木曜日の昼食後に食堂で行っております。ご利用者様の作品は各フロアに展示されておりますので、来所された際には是非ご覧になって下さい。

茶道クラブ

月に一度、浮間中学の茶道部の生徒さんと一緒に、当施設の一階食堂にて茶道クラブを行っております。ご利用者様は中学生との交流と点ててくれるお茶を、とても楽しみにしております。毎回和やかな雰囲気の中で楽しく行っております。

映画会

三階は第三金曜日、二階は第四日曜日に各フロアにて大型スクリーンやスピーカーを使用し、映画館で観ている様な雰囲気をご利用者様に味わって頂けるようにしています。いつもより大迫力な画面での視聴を、皆様楽しませております。

す。

博栄会グループニュース

博栄会 訪問看護ステーション

平成二十九年五月十五日、

北区認知症ケア向上多職種協同研修に参加し、北区より修了証が授与されました。

当ステーションの看護師が研修、グループワークに参加し修了証をいただきましたが、博栄会からは、赤羽中央総合病院、浮間中央病院、老人保健施設「太陽の都」から、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、医療相談員、介護士等多数の職員が参加しました。

これあからも利用者様やご家族様の実情をよく踏まえ、安心して訪問看護をご利用頂けます様、職員一同努めて参ります。

訪問看護ステーション管理者 笠井明子



<近況報告>

様・御家族様

『こちらのスペースに当施設職員よりご家族様へ近況報告を添えさせて頂いております。』

担当